

プラン2 高齢社会を支え合う地域福祉社会づくり

アクションプログラム

高齢者の多様な居住環境整備

【主な実施結果】

従来の特別養護老人ホーム等を中心とした施設サービスとともに、民間活力を活用した高齢者やその家族のニーズに応じた多様な居住環境や在宅支援環境を整備

- 民間特別養護老人ホームの整備
 - ・ 特別養護老人ホームについて、2006年度に川崎区小田地区と宮前区神木地区の2か所に、2007年度に幸区古市場地区にそれぞれ開設し、第1期実行計画期間内の開設目標は達成しました。
 - ・ 2008年度に開設予定だった2か所の整備事業について、2007年度に1か所のみ設置運営法人を決定するとどまり、建設に着手できませんでした。
- 地域に密着したサテライト型小規模特別養護老人ホームの整備
 - ・ 小規模特別養護老人ホームについて、2007年度に宮前区野川地区に開設しました。
 - ・ 中原区上平間地区整備事業について、2005年度に整備用地を取得し、2006年度には設置運営法人を決定しましたが、2007年度に、法人側の事情により計画遂行が困難となったため、設置・運営について取り下げとなりました。
- 認知症高齢者に対応したグループホームの整備
 - ・ 認知症高齢者グループホームについて、2005年度に19事業者が開設しました。
 - ・ 2006年度以降は、「第3期介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画」に基づき認知症高齢者グループホームの整備を推進しました。
- 介護老人保健施設の整備
 - ・ 介護老人保健施設について、2005年度に川崎区小田地区に開設しました。
 - ・ 2006年度には、麻生区黒川地区に開設予定でしたが、工事の遅れから2007年度の開設となりました。幸区小向地区については当初の予定通り2007年度に開設しました。
- 中軽度の要介護者を対象とするケアハウスの整備
 - ・ ケアハウスについて、2005年度に宮前区野川地区で建設に着手し、2006年度に第1期工事分が、2007年度に第2期工事分がそれぞれ開設しました。
- 在宅サービスの充実のためショートステイ専用施設等の整備
 - ・ 鷺沼プール跡地の福祉ゾーンに整備を予定していたショートステイ専用施設について、小規模多機能型複合施設に計画変更し、2006年度に、「地域介護・福祉空間整備交付金」に係る整備計画書を提出しました。2007年度には、設置運営法人を決定し、2008年度中の開設に向けて建設に着手しました。

安心して自立生活を送ることのできる環境づくりに向けた安心ハウス構想の推進

- ・ 市内で展開されている高齢者住宅と福祉関連施設の共同事業のうち、安心ハウスのモデル事業となり得る事業を把握するとともに、安心ハウスの更なる普及啓発を進めました。
- ・ 民間事業者が運営するグループリビングで暮らす高齢者が快適に安心して暮らすための地域交流プログラム等のモデル事業を実施しました。

【課題と第2期実行計画における取組】

介護基盤整備の課題としては、施設整備に適した規模の土地確保が困難なことに加えて、介護報酬の引き下げにより法人運営が厳しく、また、全国的な介護人材不足等により、新規開設に向けての人材確保も困難な状況があることから、第2期実行計画においては、介護基盤の整備手法について検討を行い、高齢者の多様な居住環境の整備を推進します。

介護予防対策の充実

【主な実施結果】

地域における虚弱な高齢者の活動の場としての介護予防拠点等の整備

- ・ 介護予防拠点施設について、2005年度に7か所整備するとともに、2006年度には、市内48か所の老人いきいきの家を介護予防拠点と位置づけました。

アクションプログラム

介護予防に効果があるパワーリハビリテーションなどの介護予防プログラムの推進

- ・パワーリハビリテーションなどの介護予防プログラムを推進しました。
- ・老人いこいの家において、介護予防普及啓発事業として「いこい元気広場」を2007年度から開設しました。

要支援、要介護状態に陥らないために音楽療法、転倒予防、認知症予防、低栄養予防、口腔ケアなどを普及・促進

- ・市内の特別養護老人ホーム等において、2005年度は3か所、2006年度は7か所、2007年度は8か所で音楽療法を実施しました。
- ・口腔機能向上教室、栄養改善教室などを実施しました。

効果的な介護予防サービスを実現するためのサービス評価のしくみづくりと予防効果の検証

- ・2006年度の介護予防事業に対する評価を実施しました。
- ・特定高齢者（介護予防プログラムの利用が望ましい方）の介護予防事業参加にあたり、地域包括支援センターがケアプランを作成しやすいように簡易ケアプランの作成をしました。
- ・2008年度から実施する特定高齢者把握事業の生活機能評価について実施方法の検討と準備を行いました。

【課題と第2期実行計画における取組】

2007年度に特定高齢者候補者の基準が緩和されたにもかかわらず、介護予防事業参加者が増えなかったことから、特定高齢者の把握が介護予防事業への参加促進に結びつくよう事業を推進することが求められています。

第2期実行計画においては、特定高齢者把握のための生活機能評価の実施方法を確立することにより介護予防事業参加者の増加を図るとともに、介護予防事業全体の見直しを行います。

シニア能力の活用

【主な実施結果】

既存施策の再構築

- ・シニア世代の経験、知識、能力を十分に発揮できる環境づくりに向けて、シニア施策に関する基本的な考え方を整理するとともに、庁内にシニア活動推進会議を設置し、シニア関連施策の再構築に向けた取組を進めました。

地域で活躍するシニアの支援

- ・2005年度は、シニア地域活動モデルの創造に向けワークショップを開催するとともに、ワークショップ参加者有志により設立した任意団体のNPO法人化に向け、必要な情報提供等の支援を行い、翌年度、NPO法人として認証されました。
- ・2006年度は、シニア世代にとって有用な庁内の情報を一元的に提供するホームページ「かわさきシニア応援サイト」を作成しました。
- ・2007年度は、シニア地域デビュー支援として年2回地域デビューのきっかけづくりの場となるセミナーを開催しました。

【課題と第2期実行計画における取組】

シニア活動推進会議を拡充して開催し、シニア関連事業の連携に向けたシステムづくりや施策の進行管理などシニア関連の施策調整と「かわさきシニア応援サイト」において、情報発信・情報共有を図ることにより、シニア施策を推進します。

施策計画

事業名	現 状	目 標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
アクションプログラム：高齢者の多様な居住環境整備					
○ 民間特別養護老人ホームの整備 要介護高齢者の増加に対応するために、新たな整備手法により、特別養護老人ホームの整備を着実に推進します。	(ホーム・床数) 28か所 2,182床	28か所 2,182床	30か所 2,402床	31か所 2,522床	第3期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(2006～2008)の目標達成
実施結果 進捗状況区分 4	特別養護老人ホームについて、2006年度に川崎区小田地区と宮前区神木地区の2か所に、2007年度に幸区古市場地区にそれぞれ開設し、第1期実行計画期間内の開設目標は達成しました。 2008年度に開設予定だった2か所の整備事業について、2007年度に1か所のみ設置運営法人を決定するにとどまり、建設に着手できませんでした。				
○ 小規模特別養護老人ホームの整備 地域密着型サービスとして、本市初の小規模特別養護老人ホームの整備を推進します。		用地取得	建設工事	開 設	第3期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(2006～2008)の目標達成
実施結果 進捗状況区分 4	小規模特別養護老人ホームについて、2007年度に宮前区野川地区に開設しました。 中原区上平間地区整備事業について、2005年度に整備用地を取得し、2006年度には設置運営法人を決定しましたが、2007年度に、法人側の事情により計画遂行が困難となったため、設置・運営について取り下げとなりました。				
○ 認知症高齢者グループホームの整備 認知症の状態にある高齢者が共同生活をしながら、日常の介護やリハビリを受けるための施設としてグループホームの整備を進めます。	(ホーム) 20か所	23か所	介護保険制度改正を踏まえた整備の推進	→	第3期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(2006～2008)の目標達成
実施結果 進捗状況区分 1	認知症高齢者グループホームについて、2005年度に、19事業者が開設しました。2006年度以降は、「第3期介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画」に基づき整備を推進しました。				
○ 介護老人保健施設の整備 介護保険制度の基盤整備として、介護老人保健施設の整備を推進します。	(施設・床数) 13か所 1,363床	14か所 1,513床	15か所 1,663床	16か所 1,813床	第3期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(2006～2008)の目標達成
実施結果 進捗状況区分 1	介護老人保健施設について、2005年度には、川崎区小田地区に開設しました。2006年度には、麻生区黒川地区に開設予定でしたが、工事の遅れから2007年度の開設となり、幸区小向地区については当初の予定どおり2007年度に開設しました。				
○ ケアハウスの整備 中軽度の要介護者を対象とした居住系サービスの中心として、ケアハウスの整備を推進します。	(ハウス・床数) 1か所 50床		2か所 150床		第3期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(2006～2008)の目標達成
実施結果 進捗状況区分 1	ケアハウスについて、2005年度に宮前区野川地区で建設に着手し、2006年度に第1期工事分が、2007年度には第2期工事分がそれぞれ開設しました。				

進捗状況区分の内容については33ページをご参照ください。

施策計画

事業名	現 状	目 標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
○ ショートステイ専用施設等の整備 在宅サービスの充実のため、ショートステイ専用施設等の整備を推進します。		基本計画策定	建設工事	ショートステイ専用施設等1か所開設	第3期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(2006～2008)の目標達成
実施結果	進捗状況区分 6	鷺沼プール跡地の福祉ゾーンに整備を予定していたショートステイ専用施設について、小規模多機能型複合施設へと計画変更し、2006年度に「地域介護・福祉空間整備交付金」に係る整備計画書を提出しました。2007年度には、設置運営法人を決定し、2008年度中の開設に向けて建設に着手しました。 【変更後の目標】 2006年度:設置運営法人の決定 2007年度:建設着手			
○ 安心ハウス構想の推進 高齢者のための生活支援サービスが付加されているさまざまなタイプの住宅や施設等を民間事業者等が効率的に運営していく安心ハウス構想の推進に向けた事業を展開します。	モデル事業の検討	モデル事業の検討・推進			安心ハウス構想の推進
実施結果	進捗状況区分 1	市内で展開されている高齢者住宅と福祉関連施設の共同事業のうち、安心ハウスのモデル事業となり得る事業を把握するとともに、安心ハウスの更なる普及啓発を進めました。また、民間事業者が運営するグループリビングで暮らす高齢者が快適に安心して暮らすための地域交流プログラム等のモデル事業を実施しました。			
アクションプログラム：介護予防対策の充実					
○ 介護予防の充実 高齢者の要介護状態への移行や悪化を防ぐため、パワーリハビリテーション、転倒予防等の効果的な介護予防プログラムの実施や評価のしくみづくりを推進します。	(パワーリハビリテーション実施箇所) 4か所	介護予防拠点3か所開設 7か所	介護保険制度改正を踏まえた新たな介護予防機能の充実		
実施結果	進捗状況区分 1	2005年度に介護予防拠点施設を7か所整備するとともに、2006年度には、市内48か所の老人いこいの家を介護予防拠点と位置づけ、介護予防普及啓発事業として「いこい元気広場」を2007年度から開設しました。また、2008年度から実施する特定高齢者把握事業の生活機能評価について準備を進めました。			
○ 高齢者音楽療法の導入 認知症・要介護高齢者の精神的な安定と身体機能の衰えを予防、維持改善し、施設や在宅での生活の質の向上を図ります。	(実施箇所) 3か所	 6か所	介護保険制度改正を踏まえた新たな介護予防機能の充実		
実施結果	進捗状況区分 1	音楽療法について、市内の特別養護老人ホームにおいて、2005年度は3か所、2006年度は7か所、2007年度は8か所でそれぞれ実施しました。			
アクションプログラム：シニア能力の活用					
○ シニア能力地域活用システムの構築 シニアによる地域活動モデルを創造するためのワークショップの開催と活動の具体化を支援します。	シニア地域活動モデル創造ワークショップの開催	活動モデル創出シニア活動支援NPOの設立支援	活動モデル創出活動の具体化		シニア世代による多様な地域活動の展開
実施結果	進捗状況区分 1	2005年度は、シニア地域活動モデルの創造に向けワークショップを開催するとともに、ワークショップ参加者有志により設立した任意団体のNPO法人化に向け、必要な情報提供等の支援を行い、翌年度、NPO法人として認証されました。2006年度は、シニア世代にとって有用な市内の情報を一元的に提供するホームページ「かわさきシニア応援サイト」を作成しました。2007年度は、シニア地域デビュー支援として年2回地域デビューのきっかけづくりの場となるセミナーを開催しました。			